



発行スケジュール(同梱号)

	日経アーキテクチャ	日経不動産マーケット情報	日経ビジネス(首都圏読者3万人)
発行日	7月9日号(7月6日発売)	8月号(7月21日発売)	7月20日号(7月17日発売)
申込締切日	●【純広告】6月3日(水) ●【我が社のイチ押し木造・木質建築プロジェクト】5月11日(月)		
原稿締切日	●【純広告】6月12日(金) ●【我が社のイチ押し木造・木質建築プロジェクト 素材提供締切日】5月15日(金)		

広告掲載料金/サイズ

リーズナブルな本企画特別掲載料金で広告掲載が可能
(参考:日経アーキテクチャ4色1ページ1,070,000円、日経不動産マーケット情報4色1ページ600,000円)

掲載スペース	料金	サイズ(天地×左右)
表4	1,400,000円	255×210mm
表2見開き	1,900,000円	280×420mm
表3	800,000円	280×210mm
目次対向	900,000円	280×210mm
4色1ページ	800,000円	280×210mm
白黒1ページ	500,000円	280×210mm
4色1/2ページ	400,000円	125×180mm
白黒1/2ページ	250,000円	125×180mm

※消費税別

“木(moku)” 特別タイアップパッケージ

「我が社のイチ押し木造・木質建築プロジェクト」

貴社が手掛けた非住宅木造プロジェクトの代表事例を定型フォーマットのビジュアルをメインとした記事広告にまとめます。該当プロジェクトの写真数点と、プロジェクト概要、担当者コメント(下記)を支給いただき弊社で作成します。

- 2P版 ■写真データ:4~5点 ■プロジェクト概要:200字 ■担当者コメント:700字
- 1P版 ■写真データ:2~3点 ■プロジェクト概要:150字 ■担当者コメント:250字

※テキスト情報に関しては、記入フォームをご用意しています。
※写真データは1枚あたり5MB以上(長辺3,000pixel以上)のデータをご用意ください。

掲載スペース	料金	申込締切日	素材提供締切日
4色2ページ	1,500,000円(制作費込み)	5月11日(月)	5月15日(金)
4色1ページ	800,000円(制作費込み)		

※消費税別



●2p版 レイアウト例



●1p版 レイアウト例

※レイアウトは変更の可能性があります。

媒体概要

日経アーキテクチャ

【創刊】1976年4月
【発行部数】20,600部(2023年1~12月 予約購読部数)
【発行形態】月2回(第2・第4木曜日)発行、年間24冊
【販売方式】年間予約購読による読者直送方式
【判型】A4変型 無線綴じ



日経不動産マーケット情報

【創刊】2002年4月
【発行部数】2,070部(2023年1~12月 予約購読部数)
【発行形態】月刊(年間12冊)毎月20日発行
【販売方式】年間予約購読・直送制
【判型】A4変型・中綴じ



同梱別冊特別版

中大規模木造・木質建築2026

moku

2026年7月
第2号発刊
決定

5万2千部発行!



中大規模の木造建築が注目されています。戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎え、豊富な森林資源の循環利用促進や木材活用が脱炭素やカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブな時代を形成する重要な要素になっていることが背景にあります。

都市部では高層ビルや商業施設、公共建築の木造化が進む一方で、これからは地方都市で中大規模木造建築が普及期を迎えようとしています。

2025年7月に発行した『木“moku”』は大きな反響を呼び、各方面から続編の期待の声が上がっていることを踏まえ、2026年7月に中大規模木造建築にかかわるすべてのステークホルダーを対象にした(同梱別冊特別版)“木(moku)”の第2号を発刊します。非住宅の木造建築を推進する技術やソリューション、製品、サービスを提供している皆様のご理解をいただきさらなる市場拡大を後押しします。

ぜひ、この機会に広告出稿をご検討ください。

都市木造から普及型中大規模木造建築、森林循環まで
木造建築にかかわるすべてのステークホルダーに向けて

■同梱送付媒体

“作り手”に木造建築の最新トレンドを届ける

日経アーキテクチャ

2026年7月9日号
(7/6発売)

20,600部送付

“発注者”に木造建築の重要性を伝える

日経不動産マーケット情報

2026年8月号
(7/21発売)

2,070部送付

“施主”である経営層*に木造建築の価値と意義を伝える
(*東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の定期購読者)

日経ビジネス

2026年7月20日号
(7/17発売)

首都圏読者3万人に送付

“木 (moku)” 中大規模木造・木質建築 2026年7月第2号発刊!



5万2千部
発行!

編集内容 (予定)

- 特集・木造オフィスビルの研究
- 動き出す2027年花博、最新状況レポート
- 市場・技術・法令を網羅、木造ニュースフラッシュ
- グラビアと図面で解剖、話題の中大規模木造・木質建築プロジェクト
- 2026年以降に完成する注目物件総ざらい

※編集記事内容は変更になることがあります。予めご了承ください

広告対象企業・製品

ゼネコン／建設会社／設計事務所／デベロッパー／ハウスメーカー／木造施工会社／プレカットメーカー／CLT関連企業／耐震建材・設備／耐震シミュレーションツール／耐火建材・設備／木造建築用金物／木造建築コーディネーター・コンサルタント／木造・木質建材／木造・木質向け塗料／CLT提供企業／木造・木質関連商社／BIMツール／森林DX関連企業／森林循環積極企業
など、中大規模木造・木質建築にかかわる企業や団体、技術、サービス

●同梱別冊特別版「木 (moku)」中大規模木造・木質建築2025」広告掲載企業●

【純広告】

イノアック コーポレーション、大林組、キーテック、サンケイビル、シェルター、大成建設、竹中工務店、タナカ、フクビ化学工業、前田建設工業、三井不動産グループ、三井ホーム、三菱地所グループ、銘建工業、若井産業

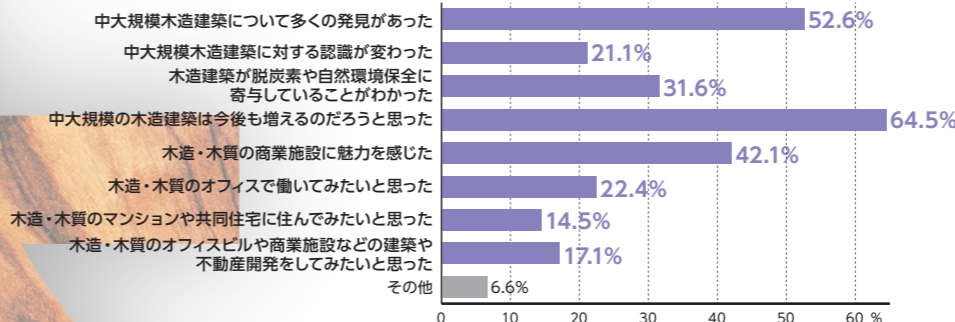
【広告企画「我が社のイチ押し木造・木質建築プロジェクト」】

SMB建材、奥村組、鹿島建設、熊谷組、シェルター、住友林業、中央日本土地建物グループ、東急建設、西松建設、野村不動産／清水建設、長谷工コーポレーション

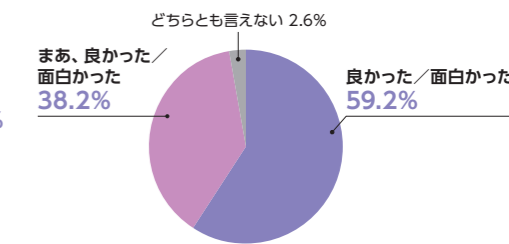
※社名50音順

中大規模木造・木質建築に 高い関心と大きな期待が寄せられています

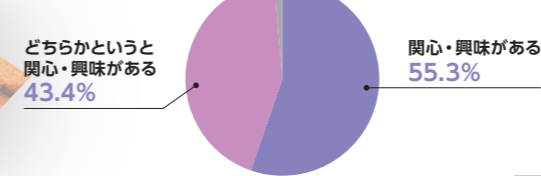
ご覧になった感想 (MA)



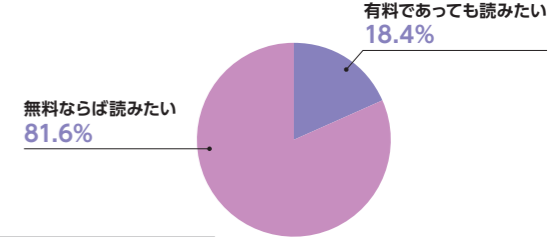
ご覧になった総合的評価 (SA)



中大規模 (戸建て住宅以外) の木造・木質建築に関心・興味度 (SA)



今回のような「中大規模の木造建築」を取り上げた同梱別冊特別版の興味度 (SA)



同梱別冊特別版「木 (moku)」中大規模木造・木質建築2025 アンケートに寄せられた自由意見

※読者コメントから一部抜粋

同梱別冊特別版に対するご意見やご要望、中大規模木造・木質建築に関するご意見やお気づきのこと

- 同梱別冊特別版の総合評価
- 同梱別冊特別版の今後の購読意向
- 中大規模木造・木質建築への関心・興味
- 年齢

私は木構造設計の実務に携わっています。約40年この業務をやってきて、やっと木造建築に光が当たってきたと実感しています。ただ、心配は「木造にすれば良い」だけが先走りするのではなく、山の木を資源として大切に使うためにはどうしたら良いかを常に考えていけると素晴らしいと思います。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 有料であっても読みみたい
- 60歳以上

カーボンニュートラルや、クリーンウッド法に基づいたSDGsに則った素晴らしい建築を見ることができた。どれも温もりを感じられる建築で、今後も木造建築について知見を広めていきたいと感じた。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 有料であっても読みみたい
- 29歳以下

大変興味深く読ませていただきました。同梱ではもったいないと思います。注目度の高いニュースフラッシュでは、当社の取り組みを取り上げていただき感謝申し上げます。非住宅の多様化する構造設計や、大規模化への環境設計の対応なども特集していただけたと嬉しいです。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 有料であっても読みみたい
- 50～59歳

木造に限らず、ある構造をフィーチャーした回があると各構造ごとの先端建築同士の違いを見つけやすく面白いなと感じた。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 無料ならば読みみたい
- 30～39歳

話題の中高層木造の最新事例の総集編という感じで、各社の取組事情が把握できて大変有意義な特集でした。今後もこのような特集をしていただけたらとても嬉しいです。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 無料ならば読みみたい
- 50～59歳

中大規模の木造・木質建築に対して取り組んでみたいという気持ちはありつつ、コスト面や事業者の意欲などまだまだハードルが高い印象を受ける。今後も同様な情報を提供していただけたら幸いです。

- まあ、良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 無料ならば読みみたい
- 30～39歳

木造建築が、長年にわたって、今後持続可能になっていく方法を見守ってほしい。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 無料ならば読みみたい
- 40～49歳

毎年同じ時期に発行していただくと面白いなと思いました。

- 良かった／面白かった
- 関心・興味がある
- 無料ならば読みみたい
- 30～39歳

※木「moku」中大規模木造・木質建築2025 読者アンケートより

木造建築にかかわるすべてのステークホルダーに幅広くアプローチ

本企画は、日経アーキテクチュア、日経不動産マーケット情報2誌の全読者、ならびに日経ビジネス読者のうち首都圏読者(東京、神奈川、千葉、埼玉)に配布。「作り手」の一級建築士、「発注者」のデベロッパーや不動産会社、金融機関、「施主」である企業の経営者層まで、中大規模木造建築の普及にかかわるすべてのステークホルダーに届けます。

日経アーキテクチュア

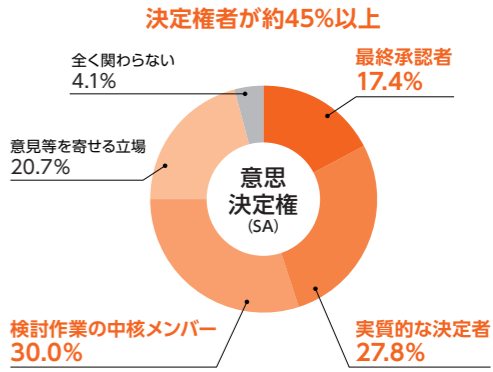
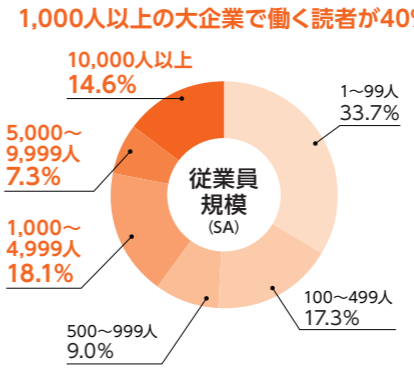
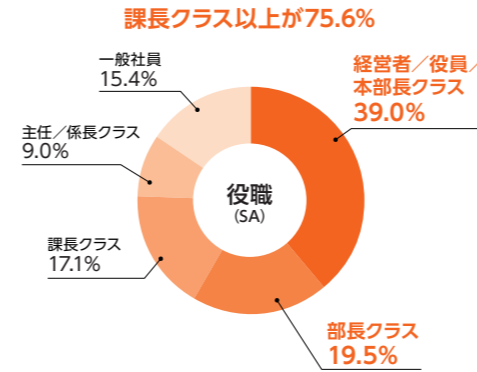
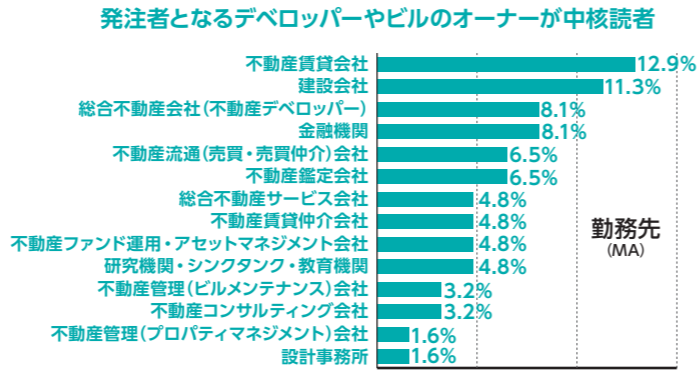
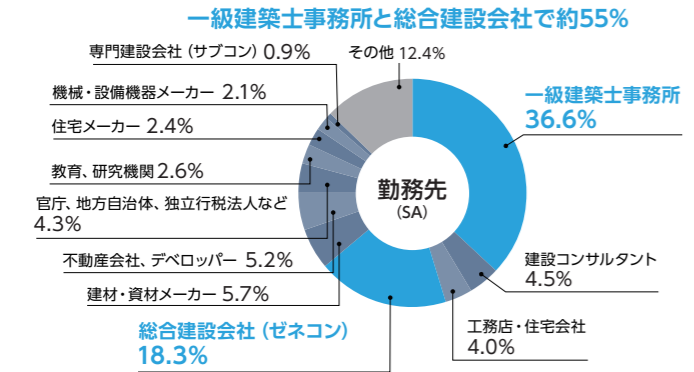
木造建築の最新トレンドが建築士・設計者に届く

日経不動産マーケット情報

木造建築の意義と付加価値が発注者に届く

日経ビジネス

首都圏読者(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の定期購読者)経営層3万人の施主に木造建築に取り組むべき理由を伝える



【調査概要】 ●調査対象：日経アーキテクチュア読者 ●調査方法：Web調査 ●調査期間：2025年8月 ●有効回答数：427件

【調査概要】 ●調査対象：日経不動産マーケット情報読者 ●調査方法：Web調査 ●調査時期：2025年8月 ●有効回答数：66件

【調査概要】 ●調査対象：日経ビジネス定期購読者、日経ビジネス電子版登録会員・有料会員 ●調査方法：メール告知・WEB調査 ●調査時期：2024年7月 ●有効回答数：916人